

# 「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		清掃管理事務費 [清掃管理事務]									
予算科目	款 4	衛生費	項 2	清掃費	目 1	清掃総務費	事業番号	2			
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	環境対策（ごみ対策）			課	ごみ減量		係	課長名	梶川 義夫		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	4 - 7			
【施策名】 ごみの減量とリサイクルの推進							総合計画書 (ページ)	97			
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）						
	ごみ・資源物を排出する市民				人口（10月1日現在）						
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）						
市民が排出するごみの排出量を削減する。				市民1人1日当たりの排出量							
→				総排出量（t/年）÷人口（人）÷年間日数（日）							
×1,000,000											
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）							
わかりやすい広報の作成に努め、排出マナーの向上や適正な分別排出について、市民に啓発を行った。				①ごみ分別ガイドの改訂回数							
①ごみ分別ガイドの改訂				②廃棄物広報紙「ごろすけだより」の発行数							
②廃棄物広報紙「ごろすけだより」の発行				→							
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標			
	対象指標	①の数値	人	85,277	85,305	85,335					
	成果指標	②の数値	g	674.3	692.1	660.8					
	目 標	②の目標値	g	650.0	650.0	650.0					
目標値設定の考え方											
ごみ・資源物として排出されたものの再資源化率の向上を図る。											
活動指標	③の数値		①ごみ分別ガイド：1回 ②ごろすけだより：3回	①ごみ分別ガイド：1回 ②ごろすけだより：1回	①ごみ分別ガイド：0回 ②ごろすけだより：2回						
3 経費	事業費（実績）		円	109,231,254	126,863,421	126,153,294	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値（退職手当組合負担金、共済費も含む。）				
	財源	一般財源	円	11,633,067	10,585,683	12,904,794					
		特定財源（国・都・他）	円	97,598,187	116,277,738	113,248,500					
		（うち受益者負担）	円	97,598,187	116,577,738	113,248,500					
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	3.0	3.0	3.0					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円	24,930,000	25,140,000	24,750,000					
職員人件費(再任用)		円									
事業費+人件費		円	134,161,254	152,003,421	150,903,294						
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和29 年度								
	(2) 環境の変化 平成26年 8月：収集体制の変更・一部戸別回収の実施 平成26年10月：家庭廃棄物の有料化を導入										

事業名称	清掃管理事務費 [清掃管理事務]			
担当部署・課長名	環境対策（ごみ対策）	課	ごみ減量	係 課長名 梶川 義夫

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 令和3年10月に実施したフードドライブでのアンケートにおいて、ホームページやごみ分別アプリ、広報紙での周知に効果があることが確認できた。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：②、④、⑥（広報媒体：ごすけだより、ごみ分別アプリ）		
	<input type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体：                      ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（                      ）		
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） ホームページやごみ分別アプリ、広報紙など様々なツールのさらなる活用により、一層の啓発を図る。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 ・ 広報紙の発行が2回に留まったが、ページ数を増やすことで対応し、市民に廃棄物の減量と適正な排出を訴えた。 ・ ホームページやごみ分別アプリを活用し、市民に向けて廃棄物の減量や適正な排出に関する情報提供を適宜行った。 ・ 学校と連携して、子どもたちが廃棄物に関心を持ってもらえるように環境学習を行う場を設けた。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
	ホームページやごみ分別アプリ、広報紙など様々なツールのさらなる活用により、一層の啓発を図る。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： ごみの減量とリサイクルの推進 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある    事業名（                      ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 今後も廃棄物の排出抑制や適切な排出、リサイクルの推進に向けた広報活動を継続していく。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	市民への周知方法の拡大。			